

1. 内政

- ・3日、社会党は、党大会を実施。5日、ドドン同党首は、同党がブロックを形成して次回議会選挙に臨む可能性に言及。
- ・5日、フィラト自由民主党党首(前首相)は、与党連合「欧州統合のための同盟」(AEI)が崩壊した原因は各党間のコミュニケーション不足及び経済的利害の衝突等であった旨発言。

2. 経済

▼マクロ経済

- ・7日、モルドバ国立銀行は、モルドバの出稼ぎ労働者からの本年第1四半期の送金額が前年同期比9.4%増の7億1,237万米ドルであり、ロシア及びイタリアからの送金額が最

も大きかった、この送金はモルドバGDPの20～30%を占めるであろう旨報告。

▼農業

- ・6日、ブマコフ農業相は、最近、過去10年間で、穀物の収穫が最も多く、総生産量が100万トンを超え、1ヘクタール当たり、平均3トンを生産するであろう、国内需要を確保し、16万トンの穀物を輸出出来るであろう旨発言。

3. 外政

- ・7日、エフリム司法相は、欧州委員会がモルドバの司法改革のため6,000万ユーロを拠出した旨発言。

4. 防衛

- ・7日、政府は、アナ・ヴァンラチを国防副大臣に任命、初の女性国防副大臣。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)